

国際連携デザインキャンプ (ICDC2018) 業務報告

○中村秀二^{A)}、大嶋康敬^{B)}、青木敏裕^{C)}、榎園祐希^{D)}、白川武敏^{E)}、清水久雄^{E)}、
廣田将輝^{E)}、倉田 大^{E)}、平田正昭^{E)}、山本光治^{A)}、松本英敏^{A)}、矢北孝一^{A)}

^{A)}学術支援グループ、^{B)}装置開発グループ、^{C)}先端情報グループ、^{D)}電気応用グループ、^{E)}機械加工グループ

1 はじめに

熊本大学工学部では国際的な連携によるものづくりに対応できる学生を育てるため、国際連携デザインキャンプを3カ国の協働で開催している。各大学から参加した学生が混成グループを組み、課題テーマに沿ったものづくりコンテストを行い、三大学の友好促進を果たしている。平成30年度に実施した国際連携デザインキャンプ (ICDC2018) について報告する。

2 業務概要

(1) Arduino の基本的な使い方の講習会

実施日 7月10日, 7月12日, 7月17日, 7月19日

担当者 大嶋康敬, 青木敏裕, 榎園祐希

(2) 製作課題に対する回路設計, パーツ選定のアドバイス (個別対応1グループ)

実施日 7月23日

担当者 大嶋康敬

(3) 回路設計, パーツ選定のアドバイス, プログラミング指導, ソフト/ハードに関する デバッグ, 代替品・修正案の提示回路製作指導, 製作指導

実施日 8月12日~8月17日

担当者 大嶋康敬, 青木敏裕, 榎園祐希, 中村秀二, 白川武敏, 清水久雄, 廣田将輝,
倉田 大, 平田正昭, 山本光治, 松本英敏, 矢北孝一

(4) プレゼンテーション会場の準備と各班スライド資料のチェック

実施日 8月17日

担当者 青木敏裕, 榎園祐希

3 まとめ

韓国の東亜大学校と台湾の高雄第一科技大との連携で毎年実施される国際連携デザインキャンプ (ICDC) が、熊本大学工学部にて平成30年8月11日から18日まで開催された。三大学合わせて参加者は72名 (12グループ) であった。今回の製作課題のテーマが未就学児の知育遊具であり、電子回路 Arduino を利用するグループが多く、数名の技術職員が事前説明から本番まで対応し、忙しく作業等を行った。15日には台風の影響により午前中の作業が中止となった。部品加工では、レーザー加工機・3Dプリンター等を利用する際に機器の設定ミスにより作業時間を費やしたグループや設計通りに部品の組立が出来ないグループもあった。最終日には、全てのグループの製作課題が完了したが、センサー不具合等により十分な機能が行えない作品もあった。業務では丁寧な講習、課題製作では安全を重視して指導対応することができた。